

高田高校 SSH 通信

第51号

新潟県立高田高校 SSH部

令和4年1月6日

2 学年理数科 課題研究中間発表会

12月21日(火)校内3会場で、2学年理数科生徒による課題研究中間発表会が行われました。発表は、物理分野3テーマ、化学分野5テーマ、数学分野1テーマ、生物分野6テーマ、メディカルコース9テーマに分かれ、ポスター発表の形式で行われました。外部参加者として、運営指導委員の先生方、県内大学や教育センター、SSH校の先生方および、県内病院や医療福祉関係の先生方、総勢17名にご来校いただきました。また、2学年普通科理系、1学年理数科の生徒が参加しました。発表する生徒はAとBの2グループに分かれ、発表7分、質疑応答5分を2回ずつ行いました。その後、30分間リフレクションの時間となり、外部参加の先生方から厳しいご指摘、温かいご助言をいただきました。先生方からのご指導を受け、来年4月の最終報告会に向け、これからの研究に活かして行ってほしいと思います。



外部参加の先生から質問を受ける生徒

2 学年理数科 MC 課題研究II サイエンスツアー

12月16日(木)、17日(金)、2学年理数科の生徒が、国内最先端の研究施設の見学、講義を受けるため、サイエンスツアーに行ってきました。訪問先はJAXA 筑波宇宙センター、高エネルギー加速器研究機構(KEK)、筑波大学、国立科学博物館筑波実験植物園でした。

JAXAでは、人工衛星の試験モデルや日本実験棟「きぼう」実物大モデル、宇宙ステーション補給機(HTV)、月周回衛星「かぐや」の試験モデルを見学し、国際宇宙ステーションや宇宙食についての説明をしていただきました。また、本校OGで宇宙航空研究開発機構 きぼう利用センター主任研究員の方をホテルにお招きしご講演いただきました。KEKでは、加速器が動く仕組みや素粒子、宇宙線、放射線について学び、SuperKEKB 加速器、Belle II 加速器、放射光実験施設を見学しました。筑波大学では、OB から構内を案内していただき、筑波実験植物園では、園の説明を受けた後、国内の代表的な植物や熱帯、乾燥地で生息する植物を観察しました。

以下、生徒の感想です。筑波大学の構内をバスで回ったり、実際に先輩の話を聞くことで大学を身近に考えることができました。オープンキャンパスに行ける機会も無かったので、大学の雰囲気を感じることができました。JAXA や KEK で研究の現場を近くで感じたことによって、研究職への興味がさらに深くなりました。他の職種とは違った面白さややりがいがあると思いました。自分の適正とやりたいことを見極めることが重要だと再認識しました。自分は何をしたいのか、何ができるのか、もう一度考え直してみたいと思いました。



H-II ロケット前で記念撮影@ JAXA



KEKの研究施設を見学

筑波実験植物園